



日本のLCアラート組織とその役割

日本アラート委員会

2019 All Hands

目次

東日本統括リーダー・L木村 知紀（332-A 青森ZERO LC）

TOPIC

1

ライオンズ アラート
組織と役割

2

ライオンズアラートの
現状



クラブアラート委員会

役割

現地ニーズ把握

被災クラブ及びメンバーの安否確認

ZCとの調整

1. クラブアラート規定
2. 連絡網の作成（グループLINE等）
3. 活動資金の積み立て
4. 活動シミュレーション



地区アラート委員会

役割

ZCへニーズ調査依頼

災害レベル判定

災害対策本部設置

支援PLAN発動

LCIF申請

地区内クラブへの情報発信

- 1.地区アラート規定
- 2.連絡網の作成（委員会グループLINE）
- 3.RC及びZCとのコミュニケーション
- 4.支援プランのシュミレーション
（ニーズに対する対応・社協との連携イメージ）
- 5.複合地区との連携

※災害レベル

（およその被害状況 家屋倒壊・避難所数・ボラセン設置日・行方不明者数等の情報を得て判定）

レベル1（少人数のみに影響を与える緊急事態）ゾーン・リジョンで対応

レベル2（地域社会に影響を与える緊急事態）準地区又は複合地区で対応

レベル3（何百、何千の人々に影響を与える緊急事態）東西エリア又は全日本での対応



複合アラート委員会

役割 準地区の後方支援

1. 複合アラート規定
2. 連絡網の作成（委員会グループLINE）
3. 議長・各準地区ガバナー及び
アラート委員長とのコミュニケーション
4. 後方支援のシュミレーション
（被災地区の対策本部との連携イメージ）
5. 日本アラートへのコーディネート要請



日本アラート委員会

役割

ライオンズアラートの啓発活動

MDへの受援・支援調整

アラートエキスパートの育成及び派遣

- 1.被災地区が行う支援活動に対し複合の要請を経て支援コーディネートを行う
- 2.コーディネートとは地区支援ファーストを第一に、地区ガバナー（支援対策本部長）並びにアラート委員長 MDアラート委員長を繋ぎ最善の支援方法を導き出す様に調整する事である

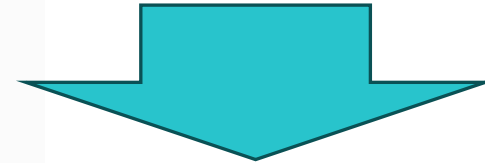
ライオンズアラートの現状



今までは・・・

ライオンズが行う一般的な支援活動

1. 金銭的支援
2. 物資支援（主にボランティア対象）
3. 炊出し支援（主にボランティア対象）
4. 直接支援



これからは・・・

1. 直接支援（現地に入りボラ活動）
2. 物資支援（被災された方々へ）
3. 炊出し支援（被災された方々へ）
4. 地域との連携支援（他団体との連携）

Action

□クラブアラート委員会

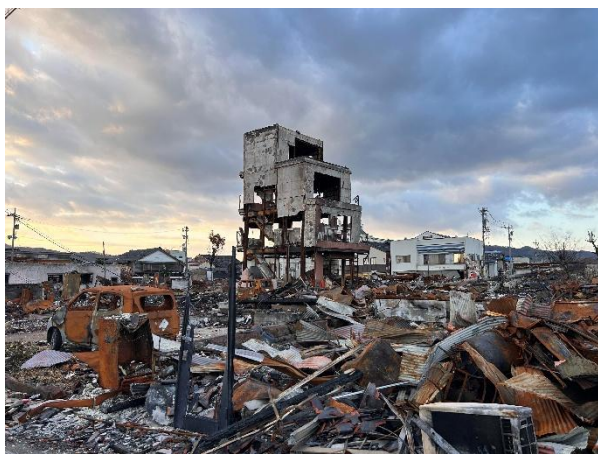
1. 支援・受援体制のシュミレーション（クラブ及びゾーンでのセミナーの開催など）
2. クラブ委員会活動の充実
3. クラブ及びゾーンでのコミュニケーション
4. 地区委員会との連携
5. 地元社協及び地元支援団体との連携（災害協定等）

□地区アラート委員会

1. アラート地区規定の見直し（常に実用的である規定を目指す）
2. リジョン及びゾーン単位でのセミナーを開催
3. 支援プラン作成能力の向上（支援ニーズの吸上げ・マッチング・コーディネート）
4. 社協依存体質からの脱却（災害支援NPO法人との連携）
5. MD委員会との連携



Action



□複合アラート委員会

1.議長を中心とした各準地区ガバナーとの連携

2.MDアラート委員会規定の確立

(委員会組織・活動規定・支援金規定の整備等)

3.日本アラートとの連携

(支援コーディネートの要請、セミナー講師派遣依頼等)

□日本アラート委員会

1.支援エキスパートの育成

(ニーズ把握、マッチング、支援コーディネート能力向上目的)